

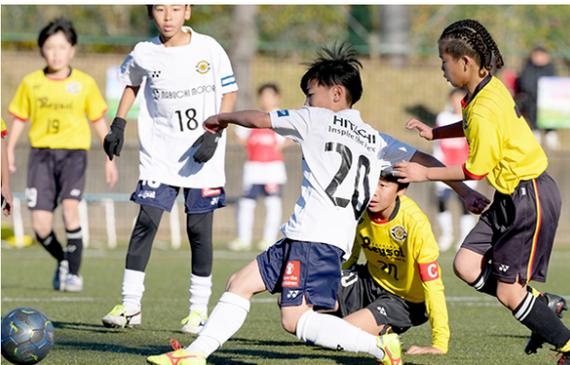


発行者
 公益社団法人
 千葉県サッカー協会
 第4種委員会
 〒260-0013
 千葉市中央区中央3-9-16
 TEL：043-310-4888
 FAX：043-222-0355
<https://www.pcs.co.jp>

第44回千葉県U-11サッカー選手権大会 兼 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 関東千葉県大会

第44回千葉県U-11サッカー選手権大会兼 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 関東千葉県大会が、2024年12月15日（日）重兵衛スポーツフィールド中台球技場にて行われました。大会参加280チームが5月からブロック予選を戦い、72チームが中央大会に進出し、勝ち上がった4チームが決勝大会に臨みました。

優勝 柏レイソル U-12



柏レイソルアカデミーでは【応援される選手・人の育成】【柏レイソル・代表・世界の軸となり活躍する選手の育成】【サッカー界はもとより、さまざまな社会で活躍し貢献できる人の育成】を目的として活動しています。

普段の練習からサッカーに対して真摯に取り組み、どの試合も技術と判断を大事にしながら攻守において遅しく立ち向かっていきます。

柏レイソルU-12コーチ 仙石 簾

写真提供：FANTASISTA

準優勝 柏レイソル A.A.TOR'82 イエロー



新年度になった時に、今年度の目標を選手達とたてました。

イエローチームの選手達は県大会で優勝し、チビリン関東大会出場権をとること、ホワイトチームの選手達は県大会1次リーグを突破することでした。

各選手が主体的から自主的に、自主的から積極的に、積極的から能動的になれるように取り組んで来ました。両チームの選手共に3ブロックの予選リーグを通して、自分達のストロングポイントや改善点などを理解し、取り組むことができたと思います。

イエローチームは準優勝で、優勝には手が届きませんでした。JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN関東の出場権をとることができました。また、ホワイトチームはベストエイトと目標以上の結果を得ることができました。イエローとホワイト共に1年間を通して、各選手の成長を感じることができました。

今後も次へのステップアップに向けて日々努力し、選手一人ひとりが周りの選手に良い影響を与えるよう能動的に動ける選手になってほしいと願っています。

柏レイソル A.A.TOR'82 学年担当 大塚 信行

第3位 FCラルクヴェール千葉U-12



4月からチームを担当するようになり、チームの長所である縦の推進力に磨きをかけてきました。また、攻撃のバリエーションを増やすために、縦には行かず横に相手を揺さぶり、数的優位からの仕掛け等を練習してきました。

県大会で練習の成果が結果として出たことを選手と喜び、負けた悔しさから得た次へのチャレンジの目標に向け、これからも選手やスタッフと共に決意を持って成長していきたいと思っています。

FCラルクヴェール千葉U-11担当 山本 健太

第3位 ジェフユナイテッド市原・千葉コラソン



次のステージに繋げていくためにボールを扱う技術・周囲の状況を認知する力・強い気持ちを大切に選手達が全力で戦った千葉県大会は惜しくも敗れましたが、第3位という結果を残したことは大きな成果です。大会を通じて、技術面や戦術面で成長を感じることができました。特に、試合ごとに見せた集中力とチームワークは素晴らしく、次に繋がる経験となったはずです。敗戦から得た教訓を活かし、小学生年代最後となるJFA全日本U-12サッカー選手権大会に向けて、今後さらに選手達が成長できるようにサポートしていきます。

この結果に満足せず、次の目標に向かって進んでいく姿勢を大切にしたいと思っています。保護者の皆様、応援ありがとうございました。

ジェフユナイテッド市原・千葉コラソン 佐瀬 裕太



今大会優勝の柏レイソル U-12と準優勝の柏レイソル A.A.TOR'82 イエローは、2025年3月15日(土)・16日(日)に栃木県佐野市運動公園で行われます2025 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN関東に千葉県代表として出場します。

試合風景



決勝審判員談

積極的に仕掛けてゴールを目指し、またボールを奪いに行く。これをフェアに行ってくれました。私は見守るだけで、選手たちが素晴らしい決勝戦を作ってくれたと思います。どの試合も「選手の安全を第一に考える事」が大事ですが、特に4種では、子どもの目線でレフェリングができていますか？ということをお問自答しています。威厳をもった気丈な振り舞いも、子どもたちには高圧的に感じるかもしれません。ですので、笑顔のコミュニケーションや丁寧な言葉遣い。例えばプレーの再開時に「ここから行きましょう！」や「下がりましょう！」などやさしい言葉を用いて、選手へのリスペクトを表情と言葉で判り易く示すことは大事だと思っています。理想は「選手と審判と一緒にゲームを作ること」ですが、上手く行かない事も多く、反省ばかりです。でも、その大変さの中に楽しみを見つけてしまったのが審判を続けている理由かもしれません。「もっともっと成長したい」という気持ち。選手も審判も同じかもしれませんね。



審判団

池田 浩康

ブロックだより BLOCK REP.

第5ブロック



第5ブロックスタッフ

第5ブロックは、八千代支部（八千代市）・成田支部（成田市・富里市・印旛郡）・佐倉支部（佐倉市）・四街道支部（四街道市）の4支部にて構成され、合わせて33チームによる活動を行っており、千葉県サッカー協会第四種委員会での決定事項・検討事項は原則翌週にはブロック内会議を開催し、各支部へタイムリーな情報共有とフォローを実施しています。

主な活動としては、U-9ブロック予選（23チーム参加）・U-10ブロック予選（各支部予選を通過した20チーム参加）・U-11ブロック予選（各支部予選を通過した20チーム参加）

を5月初旬から9月中旬（7、8月を除く）にかけてリーグ戦を基本とするブロック代表決定戦を行いました。

また、各支部トレセン及びブロックトレセン活動を通して選手育成・指導者育成に取り組み、審判員育成として審判員実技認定活動も積極的実施してきました。次年度は大会を活用した指導者及び審判員への実技講習会なども実施していく予定です。

その他の活動としては、チームや選手に対して安心・安全に活動して頂くための一環として、健康や環境リスクに配慮した季節特有のアレルギー対策等の注意事項などを取りまとめ情報発信を行いました。次年度はチーム向けにAED講習など計画していきたいと考えています。

第5ブロック委員 川合 剛民

写真提供：FANTASISTA